

## 『女の怪異学』 京都橘大学女性歴史文化研究所叢書



編著：鈴木紀子・林久美子・野村幸一郎

出版：晃洋書房

2007年3月30日発行 四六版 2,100円（税別）

女性歴史文化研究所 研究プロジェクト

「文学に見る『悪女』観の形成」研究成果公刊の書

本プロジェクトでは、以前に「悪女」をテーマに研究考察を重ねた『〈悪女〉の文化誌』（2005.3）を公刊した。今回は第二弾として、「女性と怪異」をテーマに、時代や領域を横断し多角的なアプローチを試みている。

本書はその成果として、京都橘大学女性歴史文化研究所叢書として公刊されるものである。

目次（タイトルと執筆者）

### 第Ⅰ部 〈成仏〉できない女たち

- 王朝物語における怪異—六条御息所を中心に（鈴木紀子・本学名誉教授）
- 負の継承としての怪異—板東真砂子『狗神』と京極夏彦『姑獲鳥』における憑き物筋（林久美子・文学部教授）
- 恋する幽霊の系譜学—「志怪小説」から『怪談牡丹灯籠』まで（蒲豊彦・文学部教授）

### 第Ⅱ部 日常性への懐疑

- 幽霊は語り始める—〈ことば〉から見た三遊亭円朝の怪談小噺（安達太郎・文学部助教授）
- 蘭郁二郎と人造美少女たち（細川涼一・文学部教授）
- 悪意と聖性—坂口安吾『夜長姫と耳男』（野村幸一郎・文学部教授）
- 抑圧される〈私〉—円地文子『女坂』・『女面』（辻本千鶴・文学部非常勤講師）

### 第Ⅲ部 母性と怪異

- トニ・モリソン『ピラヴィド』における幽霊（鎌田明子・本学名誉教授）